

ライストリエノール給与が鶏卵に及ぼす影響

養鶏研究所

[研究のねらい]

ライストリエノールは米糠から米油を作る際にできる油脂で、植物ステロール、ビタミンEであるトコフェロール及びトコトリエノールを多く含んでいます。植物ステロール、トコトリエノールにはコレステロール低下作用があり、ビタミンEには抗酸化作用があります。そこで、ライストリエノールを飼料に添加し鶏卵への影響を調べました。

[研究の成果]

ライストリエノールを市販の成鶏用飼料に0.5%添加し、151日齢から420日齢の鶏に給与しました。対照区には無添加の飼料を給与しました。

①鶏卵中のコレステロール

ライストリエノール給与により、卵黄コレステロールは有意に低下しました(図1)。

②鶏卵における過酸化脂質生成の指標となるチオバルビツール酸反応生成物(TBARS)

ライストリエノールにより、TBARSは低下し、鶏卵の酸化が抑制されました(図2)。

③卵黄のビタミンE

ライストリエノール給与により卵黄ビタミンEが約3倍に増加しました(図3)。

[成果の活用面・留意点]

『低コレステロール卵』、『ビタミンE強化卵』、『抗酸化性の高い卵』を生産できます。

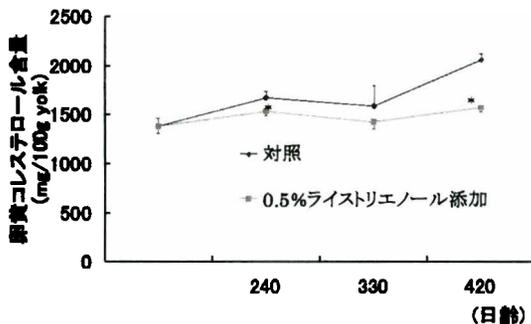


図1 卵黄コレステロール含量に与える影響

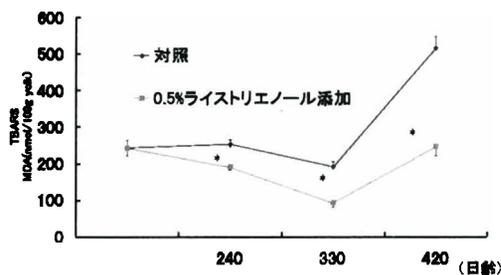


図2 卵黄 TBARS 含量に与える影響

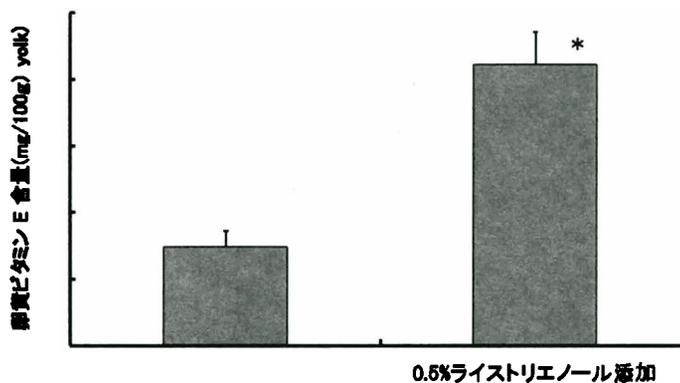


図3 卵黄ビタミンE含量に与える影響

(問い合わせ先: 0738-54-0144)